

## 行 政 報 告

第2回町議会定例会にあたり行政報告を申し上げます。

はじめに、令和6年度各会計の出納閉鎖による決算見込みについて申し上げます。

一般会計は、1億7,665万5千円の繰越しとなりました。

歳入は、令和7年度への繰越明許費分を除いた予算に対して7,227万8千円の減となりましたが、町税は予算に対し3,027万円の増となり、歳出は、繰越明許費分を除いた実質の不用額は1億8,345万円となっております。

後期高齢者医療特別会計は、223万1千円の繰越しとなりました。

国民健康保険特別会計は、国民健康保険事業費納付金などの減により、4,219万5千円の繰越しとなりました。

介護保険特別会計は、介護保険給付費などの減により、9,887万円の繰越しとなりました。介護保険給付費に係る交付金等は翌年度に精算されることから、精算額が確定しだい議会へ補正予算を提案いたします。

ガス事業会計は、年間ガス販売量が前年度同量の18万9千立方メートルで、ガス価格激変緩和対策事業費補助金を併せるとガス売上は572万円の増収となりました。

事業収支では、経費の節減に努めて若干の改善はありましたが、原料費等の経費が高止まりしていることから、1,317万1千円の当年度純損失となっております。

この当年度純損失を前年度繰越欠損金4億6,711万4千円に加えますと、当年度未処理欠損金は4億8,028万5千円となります。

水道事業会計は、年間給水量が前年度と比較して10万5千立方メートル増の64万7千立方メートルとなり、給水収益は1,905万円の増収となりました。

事業収支では、経費の節減等により3,400万円の当年度純利益となっております。

公共下水道事業会計は、年間処理量が前年度と比較して4万4千立方メートル増の34万3千立方メートルとなり、下水道使用料は565万円の増収となりました。

事業収支では、経費の節減等に努めておりましたが、5,507万8千円の当年度純損失となっております。

病院事業会計は、前年度と比較して入院患者数は12.2パーセントの増加となり、入院収益は3,424万8千円の増収となりました。外来患者数は2.5パーセントの減少となり、外来収益は687万7千円の減収となりました。

支出では、前年度と比較して医業費用が2,198万5千円の増加、医業外費用は152万5千円の増加となっております。

事業収支では、一般会計から4億4,100万円の補助金を繰入れた結果、96万4千円の当年度純利益となり、この当年度純利益を前年度繰越欠損金5億4,028万5千円から差し引きますと、当年度未処理欠損金は5億3,932万1千円となります。

なお、各会計の詳細につきましては決算上程の際に関係資料を提出いたします。

**次に、国庫補助金の未申請について申し上げます。**

令和6年度から「巡回相談支援事業委託」及び「発達支援専門員派遣」として、障がい支援事業所において保育所等に巡回相談する体制を整備し、児童等に発達の遅れや心配のある段階からの支援を実施しております。

本事業に係る費用につきましては、2分の1を国が、4分の1を北海道が補助できることになっておりますが、この事業の対象となる「地域障がい児等支援体制強化事業」の国庫補助金の申請事務において未申請となったため、総事業費の2分の1の国庫補助金170万6千円の交付を受けることができなかったものであります。

このような事務処理により、町に余計な財政負担を強いる結果となり、議会をはじめ、町民のみなさまに対し、深くお詫び申し上げますとともに、本町の行政を管理監督する立場にある者としての責任を重く受け止め、私と副町長の給料を減額いたしたく、関係条例を本定例会に提案いたしております。

今後は、組織全体で情報共有と事務処理の適正化を徹底し、再発防止に向け、より一層の注意と確認をもって職務にあたってまいりますので、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

**次に、ふるさと納税について申し上げます。**

長万部町まちづくり基金条例による、ふるさと納税の令和6年度の取組といたしまして、新たな寄附受付サイトの登録、返礼品掲載写真・文言の見直し、ふるさと納税関連イベントへの参加による新規寄附者の開拓やリピーター対策、インターネット広告の実施などを行ってまいりましたが、当町の主力返礼品でありますホタテ加工品の一部について、昨年末の繁忙期から在庫の確保が困難な状況が続いていること、原材料の高騰による寄附単価の見直しなどが影響し、令和6年度の寄附状況は、24,402件、3億4,322万円となり、前年度と比較して約2億1,687万円の減となりました。

引き続き、返礼品事業者との調整や協力を仰ぎながら、町の魅力発信や返礼品等のさらなる充実を図るとともに、町を応援してもらうための取組を継続し、ふるさと納税による寄附の拡大を目指してまいります。

また、令和6年度の企業版ふるさと納税につきましては、本町に関わりのある企業に対して、PRパンフレットの送付や町ホームページによる周知を実施したことなどにより、12件、355万円の寄附実績となりました。今後も積極的な広報活動により、幅広く募集してまいります。

### **次に、JR二股駅の存廃について申し上げます。**

JR北海道では、極端に利用の少ない駅の見直しを進めておりますが、本町に対して、令和8年3月を目処にJR二股駅の見直しに向けた具体的な内容協議の申し入れがありました。

このことから、地域住民のみなさまと直接対話し、ご意見やご要望を把握するため、5月17日に双葉振興会館において「JR二股駅の存廃に関する説明会」を開催し、近年の利用状況の推移や、駅を存続させるためには町が経費を負担して維持管理する必要があることなどを説明させていただきました。合わせて、駅設備の老朽化による建て直しなど将来的な負担も見込まれることから、町が維持管理をして駅を存続させることは極めて困難であることを共有したところであります。

これらを踏まえ、JR北海道と駅廃止の方向での手続きを進めるとともに、地域から要望のありました代替手段などを検討してまいります。

### **次に、北海道新幹線関係について申し上げます。**

3月末に、国及び鉄道運輸機構から、北海道新幹線札幌延伸の開業時期が2038年度末以降になるとの説明がありました。

この大幅な開業の遅れを受け、5月26日に北海道新幹線建設促進道南地方期成会において、東京に赴き国への緊急要望を実施し、開業遅延に伴う追加費用の発生を防ぐため、新たな地方負担が生じないよう財源の確保など適切な対策を講じることを強く求めました。

また、地域経済や各方面への影響を最小限に抑えるため、貨物新幹線

の早期実現や新幹線貨物ターミナルの整備を進めることを提案しており、今後、これらを実現すべく、国や関係機関に対し、具体的な要望活動を積極的に展開してまいります。

新幹線建設工事につきましては、町内では5つのトンネル工事が施工中で、5月1日現在において、内浦トンネルの静狩工区で、本坑5,570メートルのうち5,199メートルが掘削されており、その他のトンネルは掘削を完了し、残る覆工などを施工中であります。

また、地上部の明かり区間の工事については、橋りょうと高架橋ではすべての区間で基礎と柱を施工中で、さらに共立路盤、静狩路盤、栄原高架橋、平里高架橋では高架橋の桁床版または盛土の区間となる路盤工事まで工程が順調に進んでいるとの報告を受けております。

まちづくりに関する進捗につきましては、3月に土地区画整理事業について都市計画決定を行いました。これにより、計画的なまちづくりの基盤を整える大きな一歩を踏み出しております。

また、同じく3月に都市再生整備計画を作成し、自由通路や高架下滞留空間などの駅前周辺整備をまとめたこの計画は、町の将来像を見据えた持続可能な発展を目指すもので、今後のまちづくりの指針となるものであり、これらの取組を着実に進めることで、地域の活性化と住民のみなさまの生活環境の向上に繋げてまいります。

## **次に、老人福祉関係について申し上げます。**

80歳以上の高齢者や心身に重度の障害を持つ方が、社会参加や日常生活の中で、タクシーを交通手段の一つとして容易に利用できるよう料金の一部を助成しておりますタクシーチケットは、4月3日から役場窓口で、8日には国縫・中ノ沢・双葉・静狩の各会館に出向き交付を行いました。5月末までの対象件数は706件で、交付件数は583件、約83パーセントの交付率であります。

60歳以上の高齢者を対象とした町内温泉施設の入浴料金助成事業は、タクシーチケットと同日に受付を開始しており、5月末までの対象件数は2,389件で、交付件数は987件、約41パーセントの交付率であります。

## 次に、児童福祉関係について申し上げます。

さかえ保育所の本年度の入所児童数は、定員 60 名に対し 21 名となっており、一時保育事業の 4 月の利用は 1 名で、小学校低学年児童受入事業の利用は、5 名で延べ 26 日間、保育所に併設している地域子育て支援センターは、延べ 44 組で 98 名の親子の利用となっております。

放課後児童健全育成委託事業の学童保育所「ななかまど」は、現在、小学 1 年生 5 名、2 年生 2 名、3 年生 1 名、4 年生 1 名、5 年生 2 名の計 11 名の入所となっております。

また、認定こども園の「長万部マリア幼稚園」は、利用定員 60 名に対し 29 名、認可保育所の「いずみ保育園」は、利用定員 42 名に対し 22 名の入園となっております。

## 次に、生活環境関係について申し上げます。

令和 6 年度の本町のゴミ収集総量は、1,871 トンで、前年度と比較して約 54 トン増加いたしました。

渡島廃棄物処理広域連合に排出した可燃ゴミの量は、1,542 トンで、前年度と比較して約 15 トンの増となっております。

ゴミ減量化の一環としては、小型家電は役場内に、廃食用油は各会館等に無料回収ボックスを設置し、衣類については各地域等へ年 2 回の巡回無料回収と役場内担当窓口での随時無料回収を行っております。

今後もゴミの減量には、町民一人ひとりの意識と行動が欠かせないため、ゴミの分別排出にもご協力いただくよう一層の啓発に努めてまいります。

## 次に、農業関係について申し上げます。

飼料作物である牧草につきましては、4 月及び 5 月の平均気温が例年に比べて高く推移し、5 月 15 日現在の作況では、適度な降雨と気温により生育は順調に進んでおります。また、サイレージ用とうもろこしについても同様の理由から播種作業、生育ともに順調に推移しております。

牧野事業では、足腰の強い優良な後継牛の育成や生産コストの低減と酪農経営の安定を目的に、公共牧場の運営事業を行っておりますが、入牧予定牛の事前検査やワクチン投与等を行いながら、牧場内での牛ウイルス性下痢等感染防止に努めております。

入牧状況は、町内酪農家の育成牛は5月2日に共立牧場へ216頭、5月8日に蕨岱牧場へ110頭を入牧いたしました。共立牧場は、入牧頭数に余裕があるため、本年度も豊浦町及び洞爺湖町の酪農家の育成牛の預託を受け入れ、5月9日に125頭の入牧が終了し、町営牧場2カ所の合計で451頭の利用をいただいております。

また、公共牧場及び畜産農家において、植生改善による良質な自給飼料生産に不可欠な草地更新や暗渠排水整備等による農地の機能向上のため、本年度も道営草地整備事業を予定しております。

農業生産額につきましては、生乳生産実績は、1月から4月までで2,934トン、乳代は3億1,785万円となり、前年同月と比較して生乳生産量は166トンの増となり、乳代でも2,071万円の増となっております。

また、黒毛和牛の1月から4月までの販売頭数は70頭、販売金額は4,604万円となり、前年同月と比較して販売頭数で1頭の増、販売金額でも88万円の増となっており、概ね前年同月値を維持しております。

## 次に、有害鳥獣駆除対策について申し上げます。

有害鳥獣駆除対策は、長万部町鳥獣被害防止対策協議会が中心となり、関係機関と連携を図りながら、効果的な被害防止対策を実施しております。ヒグマや近年個体数が急増しているエゾシカ、特定外来生物であるアライグマなどが林業や農業へ被害をもたらしていることから、総合的に対処するため、本年度も引き続き「鳥獣被害防止対策事業」を同協議会に委託し、ハンターによる巡回の徹底や有害鳥獣駆除業務を実施し、被害防止対策の強化を図っております。

今後も関係機関と連携を図り、鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律等に基づき、人畜被害を防止するため適切な処置を実施してまいります。

## 次に、漁業関係について申し上げます。

基幹産業であるホタテ貝養殖漁業は、令和6年度の生産量は約13,427トンで、前年度と比較し449トンの減となりましたが、生産額では48億3,384万円となり、前年度と比較して12億5,271万円の増となっております。この要因は、ホタテ貝の輸出が増えたことで単価が値上がりしたためと考えられます。

渡島北部地区水産技術普及指導所が、2月に長万部町海域のホタテ稚貝の生育等を調査した結果、正常貝は約87パーセントで、例年と比較して生育状況が低水準となっていることから、各関係機関と協議しながら引き続き注視してまいります。

## 次に、商工観光労政関係について申し上げます。

地域経済は、国際情勢の変化や長期化する物価高騰により、厳しい状況が続いており、今後の経営不安の解消と事業経営の安定化を図るため、中小企業特別融資資金の貸付けを関係機関と連携して実施しております。

観光振興では、引き続き長万部町、豊浦町、黒松内町の3町連携「はしっこ同盟」による広域連携事業を中心とした活動・取組を一層強化してまいります。

また、長万部観光協会では、JR長万部駅構内に設置している観光案内所「インフォまんべ」を拠点に、町の観光情報を発信するとともに、積極的な観光客の誘致に努めております。さらに、町を訪れる多くの観光客のみなさまへ長万部温泉や二股ラジウム温泉、飲食店の紹介をはじめ町内の観光情報を提供しております。

なお、本町の経済活性化の一環であります合宿等誘致事業は、新幹線工事関係者が町内の温泉旅館に長期滞在しているため、大規模な受入は困難な状況ではありますが、温泉利用組合と連携し、受入の調整を行っていきたいと考えております。



## **次に、建設関係について申し上げます。**

土木事業では、橋りょう長寿命化計画に基づき、工事は美酪橋修繕工事を7月31日まで、カマツオナイ橋修繕工事を8月29日までの工期で施工しており、調査設計業務は豊津3号橋外修繕工事設計業務を10月31日まで、橋りょう点検調査業務を令和8年1月30日までの工期で実施しております。

道路維持関係では、舗装補修工事は11月21日まで、道路排水清掃業務は11月27日までの工期で実施しております。また、除雪トラック更新につきましては、令和8年3月24日までの納期で発注しております。その他、町道及び河川の維持補修等については、計画的に実施しております。

建築事業では、町営住宅（仮称）新南部団地建設工事第1工区の入札を5月30日に執行し、工事請負契約の締結を本定例会に上程しております。その他、各公共施設や町営住宅の修繕工事については、計画的に実施しております。

公園関係では、あやめ公園パークゴルフ場は4月11日に、長万部公園キャンプ場は、4月18日にオープンしております。

## **次に、ガス事業について申し上げます。**

北海道新幹線建設工事に伴うガス本支管移設工事の陣屋線・JR函館本線付近工区は10月31日まで、国道5号線付近工区第1工区は令和8年1月30日までの工期で施工しております。

## **次に、水道事業について申し上げます。**

上水道配水管路・仕切弁点検管理業務委託は、令和8年3月31日までの工期で実施しております。

## **次に、公共下水道事業について申し上げます。**

長万部町公共下水道污水管路維持管理業務委託は、令和8年3月31日までの工期で実施しております。

**次に、教育関係について申し上げます。**

長万部高等学校制服購入費補助は、新入学生の保護者7名から申請があり、41万9,210円を4月25日に委任払いにより制服納入業者に支出しております。また、長万部高等学校通学費補助は、国縫、黒松内町、八雲町及び森町の通学者8名から申請があり、110万8,440円の支給を予定しております。

国公立大学生及び東京理科大学生に対する奨学金の給付や貸付けは、国公立大学生1名から申請があり、奨学金運営委員会を開催し奨学金の決定をしております。

**次に、消防関係について申し上げます。**

5月末現在での火災発生はありませんでした。

救急件数は156件で、急病が81件、交通事故が9件、一般負傷が18件、その他転院搬送などが48件、ドクターヘリによる搬送は6件となっております。

火災予防につきましては、春の全道火災予防運動期間中、署員による防火広報、ホテルや大型店舗など不特定多数の方が出入りする施設の防火査察を実施いたしました。

消防団の状況につきましては、3月31日付けで団員3名が退団、4月1日付けで3名が入団し、現在の団員数は、基本団員が102名、女性団員が13名、機能別団員が15名で、合計130名となっております。

終わりに、本定例会に提案した議案は、条例の制定や一部改正、工事請負契約の締結など16件となっております。

議案上程の都度、担当説明員から説明させますので、よろしくご審議くださるようお願い申し上げます、行政報告を終わります。